

地域文化創造機構ニューズレター

Institute for Regional Culture Development Newsletter

Vol. 12 2015. 8. 26

活動報告

トピックス 1

炎熱の茨木フェスティバルに学生300人奮闘

地域文化創造機構教授
兼副機構長

豊島 真介



看板でイベントをPRする学生たち

第43回茨木フェスティバル(同協会主催)が7月25日(土)、26日(日)の2日間、市役所近くの北グラウンド、南グラウンドを中心に開催され、昨年より3万人以上

多い20万人の観客でにぎわいました。

その中で炎暑をものともせずそろいのTシャツ姿で躍動したのが追手門学院大学の学生300人。



客足が途切れなかったチケット売り場



「とっこ迷路」を楽しむ子どもたち

ベンチャービジネス研究所が茨木商工会議所商業部会と毎年実施している1000人市民意識アンケートをお手伝い。南グラウンドでは児童研究会が毎年設置している「とっこ迷路」が子どもたちに大人気。ダンボール箱100個以上をつなげた力作で、行列が切れることがありませんでした。



行列ができた「とっこ迷路」



「モグラタキ」も人気

南グラウンドの森エリアは追手門一色。将軍山祭実行委員会や体育祭実行委員会の「射的」「ストラックアウト」「モグラタキ」「スーパーボールすくい」

やかき氷、綿あめに子どもたちが歓声を上げました。



「ストラックアウト」は男の子のお気に入り

夏のジュニアキャンパス開催

教育支援課 係長 石田 弘樹
(地域連携担当)

「おうてもんジュニアキャンパス2015 夏のアート講座」が8月8日(土)午前、午後の2回にわたって追手門学院大学で開かれ、13教室に小学生227人が参加しました。大学と地域のつながりを深める目的で開いているもので、文化系クラブの大学生が先生になって茶道教室やバルーンアート教室、わくわく工作教室など10教室を開講。追手門学院中・高等学校でも3教室を開講しました。



一緒に制作を進める大学生と児童

「オリ“字”ナルうちわ教室」では白地のうちわに、子どもたちが好きな文字を毛筆で書き入れました。初めて筆を持った子どもも

うちわ一杯に力強い字を書きました。「手作り万華鏡教室」では保護者が「付き添いのつもりが、子供と一緒に取組みました。大学の中で、大学生から学ぶ貴重な体験ができました」と話していました。

中・高等学校の「からだと遊ぼう教室」は天井、壁、床が黒塗りの「表現演習室」で開催。小学生8人に高校生3人が加わって福岡小百合教諭の指導のもとでまずは体をしっかり伸ばす準備運動。段階を追って体の中から声を、動きを引っ張り出す指導に、子どもたちも次第にノリノリ。最後には複雑な踊りを音楽に合わせて教室狭しと踊りました。子どもたちは「すごい楽しかった」と汗を拭いていました。

おうてもんジュニアキャンパスには夏のアート講座、冬のスポーツ講座(体育系クラブ中心)があります。次回をお楽しみに。

「おおさか食育フェスタ2015」に出展

地域文化創造機構 研究員 村上 喜郁
経営学部 教授

イオンモール茨木にて開催されました「おおさか食育フェスタ2015」(8月19日)に、経営学部 村上喜郁ゼミが食育のブースを出展いたしました。当該事業は、昨年度、追手門学院大学が大阪府の食育ヤングリーダー育成事業におきまして優秀賞を受賞いたしました活動に続くものです。大阪府中央卸売市場と連携し「野菜が食卓に届くまで」の紙芝居と「一日の野菜摂取量について学ぶゲーム」をおこない、子どもさん330人、保護者203人、合計533人の皆様にご来場いただきました。追手門学院大学の地元である茨木市のたくさんの皆さんに、楽しんで食育について勉強していただけたと感じており

ます。

村上ゼミは7月26日(日)にも、茨木フェスティバルに参加しました。「キッズ市場」のタイトルで、クリエイティブセンターで開催。学生たちが子ども

194人、保護者133人に卸売市場の仕組みを分かりやすく説明したうえで、模擬セリを行い、大いに盛り上がりました。



食育キャラクター ケンちゃんも「食育わなげ」に挑戦

「食育フェスタ2015」に参加して

経営学部 村上ゼミ 入江 俊輔

私たち村上ゼミ生は、今回初めて「食育フェスタ」に参加させていただきました。私たちのブースでは「野菜の流通と望ましい摂取量」について学習するイベントをおこない、子どもたちだけでなく、そのご両親にも食育について学んでいただけました。多くの来場者から、理想的な野菜の摂取量が思いの外

多いこと、年齢によってその量が変わることに驚きがありました。ゲーム感覚で楽しんでもらいながら、食育に関心を持ってもらえたと思います。また、他校からも出展があり、私たち自身も新たな食育の知識を得ることが出来ました。私たちは、これからも食育の活動を積極的進めていきたいと考えています。

地域文化創造機構 ニューズレター

お問い合わせ

発行/追手門学院大学 地域文化創造機構

追手門学院大学 地域文化創造機構 「連携考房 童子」
〒567-0816 大阪府茨木市永代町4-202 (阪急茨木市駅南「Socio-2」2階)
TEL:072-621-6015 FAX:072-622-1360 E-mail:douji@otemon.ac.jp